



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1997年7月1日発行 第12号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

～～～ 1997年度の事業に寄せて ～～～

横浜スペイン交流協会 会長 下山 貞明

1997年度定例総会も終わり、新しい年度の各事業に取り組むことになりました。1996年度の各事業の実施については、会員の方々の御努力と御協力により、着実に実績を積み重ねることができましたことを厚く御礼申し上げます。

本年度の主な事業として、先ず「さくら植樹」事業ですが、明年2月を予定しており、駐西坂本大使の御努力によりEU植物防疫委員会において「無害であれば、科学的な証明により日本のさくらを歓迎する」との明るい見通しとなり、現在準備段階に入っております。

次に、各事業の実施にあたっては会員相互の親睦を図ることとし、協会設立の原点であるスペインが大好きな仲間が集まり、共通の認識のもとに、いい出会いを期待しながら時間の許す限りみんなで参加し、親睦を深めながら、更に充実してまいりたいと存じます。

国際交流とは、息の長い事業であり、未来に向けてスペインとの文化交流の輪を広げたいと考えておりますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

*** 1997年度総会開かれる ***

5月23日、横浜駅東口にあるスカイビル27階、ハマの夜景が美しい

横浜クルーズ・クルーズに於いて、1997年度総会が開催されました。

本年は総会の形式に若干の工夫をし、夕刻から総会を行い、総会終了後横浜の夜景を鑑賞しながら食事と懇親ができるようにしました。

総会では、1997年度事業計画として当協会のシンボル事業であるスペインへのさくら植樹が明年2月、セビリア、コリア・デル・リオ、およびロンダの各都市へ実施することが発表され、また会員間のヒューマンリレーションを図るための、いくつかの提案がなされました。

また、総会に先立って開催された理事会での決定事項として、現在の駐日スペイン大使、サンチャゴ・サラス閣下を当協会の名誉会長とする旨の発表がありました。

総会終了後は、同会場に於いて懇親会に入り、参加者全員が



1997年度総会風景（挨拶する下山会長・起立中央／着席右、植田副会長。同左、齋藤副会長）

楽しい会話と愉快的話に時の経つのも忘れるほどでした。
ところで、総会では以下の議案について検討され、すべて原
案通り異議なく承認決議されました

第1・2号議案

前年度の事業報告・決算・監査報告

第3・4号議案

新年度の事業計画・予算案

第5号議案

役員欠員に伴う補充



総会後の懇親会風景（参加者全員楽しいひとときを過ごしました）

第1号議案詳細

1996年度事業報告

[1996年]

- 4月 6日 役員会（総会について）
スペインへ植樹する桜の品種についての検
討のための桜見学（本牧）
- 4月 6日 会報（8号）編集会議
- 4月13日 スペイン語山下教室開講式
- 4月21日 香取希代子（フラメンコ協会名誉会長）の祝
賀会に出席（下山会長）
- 5月 6日 アーモンドの台木と桜の枝の接木について
の状況報告（池本桜担当理事）
- 5月11日 役員会（総会資料作成について）
- 5月18日 1996年度総会並びに理事会
- 5月24日 役員会（スペイン語戸塚教室運営について）
- 6月 1日 会報8号発行
- 6月 1日 理事会
- 6月 2日 幹事会（スペイン語教室連絡会）
- 6月 9日 役員会
- 6月22日 スペインサロン（講 師：石井陽一神奈川大
学教授『スペインとイスパノアメリカ経
済の裏側』）
- 7月 7日 理事会（スペイン語戸塚教室運営について）
- 7月16日 スペイン公使送別会（於：スペイン大使館/
下山会長出席）
- 7月27日 理事会（スペイン語戸塚教室の取り扱いについて）
- 8月 2日 外務省よりスペイン政府に於ける植物検疫
の指示事項について通達を受ける
- 8月 3日 会報（9号）編集会議
- 8月24日 役員会（年末パーティ開催について）
- 9月 7日 幹事会（年末パーティについて）
- 9月13日 宮城スペイン協会早川会長と懇談（於：仙台/下山会長）
- 9月28日 テルトゥリア（ゲストスピーカー：角田ジョランダさん）
- 10月 1日 会報9号発行
- 10月 2日 スペイン政府工業大臣来日歓迎レセプション
（下山会長出席）
- 10月 5日 幹事会
- 10月12日 スペインサロン（講師：香取希代子日本フラ

メンコ協会名誉会長『フラメンコに生きる』）

- 10月12日 スペインナショナルデーレセプション（於：
スペイン大使館/下山会長出席）
- 10月19日 テルトゥリア（ゲストスピーカー：チャロ・
バラズエロスさん）
- 11月 2日 会報（10号）編集会議
- 11月 9日 年末パーティ実行委員会
- 11月10日 桜植樹についての打ち合わせ（池本桜担当理
事/下山会長）
- 11月16日 スペインサロン（講師：川成洋法政大学教
授『スペイン内戦の今日性』）
- 11月20日 宮城スペイン協会5周年記念式典（於：仙台
メトロポリタンホテル/飯塚常務理事出席）
- 11月22日 役員会
- 11月26日 横浜植物防疫所と桜苗木の検疫について協議
- 11月30日 年末パーティ実行委員会
- 12月 7日 さくら交流基金募集『スペイン音楽の夕べ』（年
末パーティ）開催（於：新横浜国際ホテル）
- 12月 9日 名古屋スペイン協会10周年記念式典（祝電）
- 12月22日 日本マドリッド会クリスマスパーティ（下山会長出席）

[1997年]

- 1月11日 スペイン語教室新三講座募集内容策定（スベ
イン語講座委員会）
- 1月11日 桜植樹についての打ち合わせ（池本桜担当理
事/下山会長）
- 1月18日 幹事会
- 1月25日 テルトゥリア（ゲストスピーカー：角田ジョランダさん）
- 1月27日 当協会顧問柳貞子氏のスペイン文民功労勲章
受章式（於：スペイン大使館/下山会長出席）
- 1月29日 桜苗木（200本）、（財）日本花の会へ委託
- 2月 1日 会報10号発行
- 2月 8日 幹事会（年末パーティ収支報告等）
- 2月17日 バレンシアオレンジ輸入記念パーティ（於：
スペイン大使館/下山会長出席）
- 2月19日 横浜市海外交流協会補助金申請

3月 1日 スペインサロン（講師：荻内勝之東京経済大
学教授『カルメンの食卓』）
3月 2日 香取希代子氏スペイン文民功労勲章受章記念
パーティ（下山会長出席）
3月 5日 柳貞子氏スペイン文民功労勲章受章記念パー
ティ（下山会長出席）
3月 5日 （財）国際親善協会より、セビリア市における
さくら植樹育成状況報告を受ける
3月 8日 会報（11号）編集会議

3月 9日 幹事会（総会について）
3月14日 外務省に桜植樹の計画表を提出
3月21日 スペイン語教室公募の抽選結果を個人に通知
3月25日 花と緑の研究所に、スペインにおけるワークシ
ョップのための押し花指導講師派遣要請交渉

※ スペイン語教室について
前期（4月～9月）…15教室（219名）
後期（10月～3月）…3教室（54名）

第3号 議案詳細

1997年度事業計画案

1. 『さくら交流事業』

1998年2月を目標に、再度セビリア市およびコリア・デル・リオ市にさくらを植樹いたします。
本事業は、宮城スペイン協会と共同で行うもので、とくにコリア・デル・リオ市にたいしては、宮城ス
페인協会が中心になり、セビリア市にたいしては当協会が中心になってその事業を推進します。

また、同時にロンダ市への補充植樹も行います。

この事業のための募金活動、および募金を行うためのパンフレットの作成、旅行委員会の設置、渉外
委員会の設置およびその活動等を行います。

2. 『スペインサロン』

- (1) さくら交流使節派遣にさいし、現地で『横浜デー』を開催。
そこで行うワークショップのひとつ、押し花の講習会を数回開催。
- (2) 橋本定久昭和女子大教授による講演会
- (3) 小海永二横浜国立大学名誉教授による講演会
- (4) スペイン人チャロ氏による講演会

3. 『スペイン語教室』

6教室開講し、すべての教室で会員が講師をつとめ、会員のためのスペイン語教室とし、会員以外の受
講生は原則的には例外として認める方向で推進します。

4. 『懇親会の開催』

すべての会員が、1度は参加できるような懇親会を催します。

5. 『第4回写真展』

1997年11月第4回写真展を開催します。今回はとくに明年さくら植樹にさいして行う『横浜デー』にお
いて横浜の紹介を兼ねて現地で開催する写真展のプレ展示も行います。

6. 『会報「AIYES通信」の発行』

会員間のコミュニケーションをはかるため、年4回発行をめざします。

7. 『会員証の発行』

協会員としての帰属意識を高揚するために、会員証の発行について検討します。

第5号 議案詳細

役員欠員に伴う補充

* 阪本博氏退会に伴い、役員を補充
候補者：石川美知子

石川氏は現在、スペインサロン委員会主査として活躍
され、当協会のために大いなる助力をされております。
今回、阪本氏の後任として理事に推薦したいと考
えます。

サンチャゴ巡礼道を歩いて

< 第2回 >

笠島 眞佐恵

フランス側、サンジャンピエドボールからピレネーを登り始めた訳ですが、初日から28キロ、しかもすべて登りでは、あまりにきつかりと1日目はイバニェタ峠までタクシーで行ってしまいましたが、体力のある方はナポレオンルートを登られるとよいと思います。わたしどもは前日そのコースのあたりを車で案内してもらいましたので、その雄大な眺めを満喫できました。南米のアンデスとも風合いが違うすばらしい景観でした。快晴の日だったせいもありますが、イバニェタ峠は強い風の中、ローランゆかりの石碑と、その昔、霧が出たときに巡礼者が道に迷わないようにと鳴らした鐘を見ながら、宿で用意してくれたボカディージョ(スペイン風サンドイッチ)を食べました。それからロンセスバージェスの美しい谷間を目指して歩き始めましたが、実に見事なブナ林と辺り一面に咲き乱れる野の花に、来て良かったとしみじみ思ったものでした。

ロンセスバージェスは大きな修道院とホテルが2軒、観光用の小さなムセオがあるだけで、人家は見当たりませんでした。修道院で Credencial をいただきました。この Credencial とは、カトリック教会の認可のある教区で発行するもので、1枚の細長い紙の日本という実印帳のようなものです。見開きには、「どこそこの教区、または司教、修道院、信心会、教会が、以下のことを証明するもので」という文で始まり、氏名、住所、巡礼を始めた場所、日付、巡礼は徒歩か、自転車か、馬か、などの項に該当することを書き込んでもらう訳です。「上記のものは Santiago de Compostela へ巡礼するものである。巡礼者が通過する各地点では sello(印)を押してください。神の平安がすべての人にありますように」などと書かれています。そして印を押してもらうスペースが全部で40あります。無事 Santiago de Compostela に到着すると、見開きの下の部分に巡礼完了の印を押してくれます。また裏面には、「本証明書は徒歩、自転車、馬での巡礼を志す者のためのもので、この credencial で refugio(救護所)を利用できる、また Santiago de Compostela で巡礼を終えたという証明書をもらうことができる。refugio では掃除、備え付けの器具の整理整頓、経済的な援助をお願いします。支援の車があるグループ、または自転車でグループで巡礼に行く人々はなるべく refugio 以外の宿泊所を利用されたい」とあり、ヨーロッパの Caminos de Europa と Camino Frances の地図が印刷されています。ロンセスバージェスでは、この Credencial の外に、何冊かのガイドブックも置いてありましたが、アテンドしてくれた神父様はわたしどもの持っている本を見て、それで充分だとのこと、あえて新しいものは買いませんでしたが、後でやっぱりあの



とき買って置けば良かったとちょっと後悔しました。この修道院では毎日夕方8時から巡礼者のためのミサがあるとのこと、それと修道院の refugio(救護所)もあるのですが、ミサがあることなど知りませんでしたから、神父様に次の村、ブルゲテに泊まることにしていると申しましたところ、ヘミングウェイの泊まっていたホテルを教えてくださいました。

ロンセスバージェスで、まず驚いたのは、教会の扉ががっちり鍵がかかっているのです。日本ではどの教会の聖堂も開いていますので、これは信じられない事でした。これはスペイン中どこも同じようで、1日中開いている教会はごくわずかです。ミサの始まる30分前ごろ、がちやがちやと大きな鍵で扉を開け、終わるとまたすぐ閉めてしまいます。以前はこんなことはなかったそうですが、フランコ政権が倒れてから、泥棒がやたらに増え、扉を閉めざるをえないと、ある神父さんが言っていました。修道院も1時から4時までは閉まっていて、時間にならないとアテンドしてくれません。かんかん照りの修道院の庭で3時間ものあいだ待たなければなりません。それともうひとつ日本で考えていたのと違ったのは、巡礼者がヨーロッパ各地からの人が多く、スペイン人が少ないことでした。この日は1人のスペイン人にも会いませんでした。7月になると夏休みが始まるのでぐっとスペイン人の数が増すそうです。サンチャゴに着くまでに会った外国人は、フランス、イギリス、ベルギー、オランダ、スイス、ドイツ、アメリカ、アルゼンチン、ブラジル、南アフリカ、それとスペインに留学しているという韓国の女子大生、そのくらいでしょうか。それにしてもヨーロッパの人々が圧倒的に多く、スペイン人が「ヨーロッパは1つだ」という概念が生まれたのはこの巡礼道のおかげだ」と自慢するのも成る程なと思いました。そのせいでしょうか、道々巡礼のシンボル帆立て貝と一緒にヨーロッパ連合のしるしの青地に12の星のマークがいたるところで見受けられました。

この Camino frances 沿いに数多くある教会はロマネ

スク芸術の宝庫ともいうべきもので、この道を行く人々がさまざまな動機を持っているのも歩きながら分かり始めました。なにしろ大きなリュックを背負っているの、Peregrino(巡礼者)はすぐ分かります。そして互いにいろいろな情報を交換する訳です。フランスから1人で来ていた女性は「自分はストーンカッターだ」と言うので、「ではあなたはアーティストなのね。」と申しましたら、芸術家と呼ばれるのはきらいだと笑いながら言っていました。ロマネスクの建造物に興味があってやって来たとの事でした。またブラジルから来たという若い2人づれは失業中、リオデジャネイロにいてもお金がかかるのだから、ここに来たと言っていました。この2人とは旅の途中しばしば会いましたが、サンチャゴに着いた日に出会ったのには感激しました。彼らはみな refugio 泊まりです。1泊300ペセタから500ペセタ、お金は払えない人は払わなくても良いとの事でした。食事はなしで、たいてい二段ベッドで、毛布はあるところもないところもあり、キッチンの鍋なども同様です。利用者は備え付けのノートに、氏名、年齢、国籍などを書くのです。ボランティアの管理人がいるところがほとんどですが、なかにはセブレイロ峠にあるような実に立派で景色も抜群のところにあるのに管理人のいない refugio もありました。シャワーはほとんど完備していると言って良いでしょう。

もっともガスが壊れて水だけというのもたまにはあるそうです。そんな道をさまざまな動機を持った人々が歩いています。物質文明にどっぷり浸かったこの20世紀を生きて来た人々が何か精神的なものを求めて集まって来ているのでしょうか。実際中世にあのように盛んだった巡礼道はルネッサンス以降巡礼者の数はぐっと減り、18、9世紀には年間2、3人くらいしか歩く人はいなかったそうですが、不思議なことにこの道は絶えることがなかったのだそうです。中世には無数にあった refugio もいまはほとんど廃墟となっていますが、20世紀半ば過ぎから peregrino(巡礼者)が増え始め、その数は年をおって増加の一途をたどっています。特に7月25日のサンチャゴ(聖ヤコブ)の祝日が日曜日に当たる聖年には巡礼者の数がぐっと増えたとのことでした。1993年が聖年に当たりましたが、サンチャゴ・デ・コンポステラは巡礼者でごった返したと聞きました。昨年は1万人以上が歩いたとのこと。ですから各自治体も refugio の建設には力を入れ、現在はざっと数えただけで、70以上の refugio があります。また今世紀最後の1999年も聖年に当たりますので、それに備え、もっと refugio の数は増えるのではないかと思います。ひとつとても驚き、また感激したことがありました。

(次号、最終回をお楽しみに。)

§ スペイン桜便り §

EU(欧州連合)声明・「日本のサクラは歓迎」

さる5月7日、欧州連合ニュースは、EUが「日本のサクラは歓迎します」と題して、日本政府がEUに対し日本のさくらの輸入禁止措置解除をもとめていたことについて声明を発表したことをつたえました。

この声明によりますと、5月中に予定されているEUの植物防疫委員会で輸入再開を検討することを約束しています。

そして、「ただし、有害ウイルスなどの危険がないということの証明責任は日本側にある」としています。しかし、1993年にEUが植物防疫の統一規則を決めたとき、日本のさくらは輸入可能リストから外され、そのためEU加盟国へのさくら植樹がまったくできなくなってしまったときのことを思うと、ずいぶんと軟化したといえるでしょう。

いずれにしても、正式にさくらを持って行くことができなかったときのことを考えると、ようやく私たちの努力が報われるときが近付いたといえるでしょう。日本のさくらがスペインの大地に根付き、美しい花を咲かせてくれる日も近いことでしょう。

明年2月の「さくらミッション」は、例えさくらの苗木の輸入が許されないとしても、そのときはスペインのさくらんぼに日本のさくらの木を接木しようと計画しています。ですから、どのようなことがあっても、必ず2月の「さ

くらミッション」は実施します。ぜひとも多くの会員の皆様の参加をお願いします。

▼ 日本のサクラを歓迎するEUの声明を伝える 5月8日付読売新聞の記事

**日本のサクラ
歓迎します**

欧州連合(EU)が実施していたサクラの輸入禁止措置に、日本政府がクレームをかけた問題で、EUは7日、「日本のサクラは歓迎します」として、輸入再開に向けた動きを示した。

EUは、今日予定されているEUの植物防疫委員会で再開を検討することを約束しているが、「有害ウイルスなどの危険がない」という証明責任は日本側にある。

と書き添えてい。この問題は、九三年にEUが植物防疫の統一規則を定めた際、日本のサクラを輸入可能リストから外した。EUは、遠くで日本を求めた。

EU 一転 輸入前向き

そのため、日本国内の愛好団体からヨーロッパの国にいつまでもたつてもなくならぬことを目指し、「早急な取り組は『おどろき』になつてはならない」と日本への反響を呼んでいる。

∞ 柳貞子さん リサイタル ∞

ご厚意により、当協会会員には特別割引が！

AIYES 通信の前号の号外でお知らせしましたが、当協会顧問の柳貞子さんがスペイン文民功労勲章を受章した記念に、来る7月1日(火)、東急田園都市線青葉台駅前の青葉台東急百貨店本館5階にあるフィリアホールで午後7時より、『ロドリーゴのタペー永遠のアランフェス』と銘うってリサイタルを開催します。

このリサイタルはスペイン大使館と当横浜スペイン交流協会が後援しています。そして特に協会会員の方は柳さんから直接購入すると、5,000円のチケットが4,500円と10%引きで購入することができます。

柳さんの連絡電話は0427-34-5569です。横浜スペイン交流協会の会員であることを先に告げてから、お話しください。



今回の柳さんのリサイタルはロドリーゴの歌曲とギター曲を集めたもので、ギタリストの柴田杏里さんとピアニストの大背戸亜紀子さんが共演されます。

∞ スペインサロンへのお誘い ∞

来年2月、当協会がセビリア、ロンダの両都市にさくらを植樹する際、両都市において「横浜デー」を開催いたします。

ここでは、2002年に韓国と共同で開催されるサッカーのワールドカップ試合開催都市としての横浜を紹介すると同時に、現地スペインの人々との触れ合いの場を設けます。この際行うワークショップのテーマとして、押し花を選びました。これは特殊な方法で押し花の変色を防ぎ、生花そのままの色合いを残して作品にするというものです。6月、9月、11月の3回シリーズで講習会を開催しますが、最後には額絵を制作する予定です。

自分の押し花の額絵をスペインで展示できるチャンスです。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

◎ お申し込みは、 下記の委員のいずれかにご連絡ください。

- ☆ 朝倉しとみ
- ☆ 宮川美句子
- ☆ 石川美知子

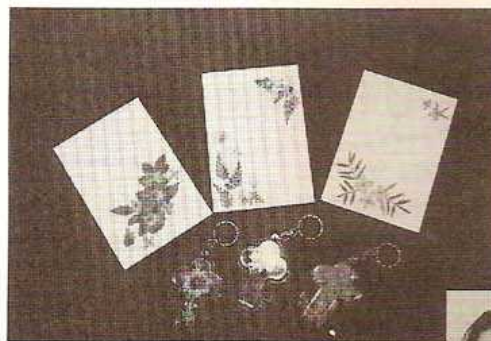
◎ 開催日時：1997年6月28日(土) 開場 13:30 講習会 14:00～16:00

◎ 会場：かながわ県民活動サポートセンター7階 708号室
神奈川区鶴屋町2-24-2

◎ 交通：横浜駅西口下車(徒歩5分) 三越百貨店裏

◎ 費用：会員 2,500円 一般参加者 3,000円 (会場にてお支払い) 教材費を含む

◎ 講師：丸山稚香子先生 (神奈川県押し花倶楽部・ふしぎ花倶楽部事務局代表)



押し花の指導をしてくださる丸山先生と先生の作品押し花を使った『はがき』と『キーホルダー』。このような楽しい作品が誰にでも簡単に作れます。



委員会だより

Vol. 3 スペイン語教室

~ 講師のひとこと *~*~*

横浜スペイン交流協会では、スペインの人たちと、スペイン語をとおしての交流もはかれたら…と、約5年前、スペイン語教室が発足しました。

現在、角田ジョランダ講師による「スペイン語入門」「会話初級」、高柳治子講師「スペイン語初級クラス」2講座、栗山由美子講師「スペイン語中級」「新聞を読む会」の6コースが、かながわ県民センター、戸塚サンライフ、横浜産業貿易センターで行われています。

クラス単位での自主運営という形をとっておりますので、講師と受講生の方たちとの相談によって「私たちの、私たちによる、私たちの教室」を進めていける自由と積極性があります。

講師陣は、受講生の皆さんが、スペイン語だけではなく、スペインの社会事情、風俗習慣、文化、歴史などにも広く目を向け、スペインという国を、そしてそこに住む人々を少しでも理解したうえで、交流をはかれるよう、お役にたてたらと願いつつ、努力しております。

高柳 治子 * ヒラソル、アマポーラ講座講師

~ 受講生のひとこと *~*~*

二年前の秋、何とはなくスペイン語にひかれた19名の女性達で始まったこのクラス。7人の方が転勤や仕事の都合でやめられたが、新たに4人が入られ、只今16名、2人いらしたセニョリータは就職されやめられたが、2人の男性が参加され、黒2点で頑張っていच्छる。

何しろこのクラス、手よりも口が先とばかり先生が直されるより先に生徒より「つつこみ」がある。先生の質問に頭が真白状態の時の、お隣りよりの大きな「ひとりごと」は本当に助かる。語学を学んでいて何よりいやなのは「自分だけが出来ないのでは。人の足をひっぱっているのでは」という思い。それがここにはない。私自身、こんなに楽しく語学を学んだことがない。間違っ「しまった」と思った瞬間、必ず「つつこみ」があり、どっと笑い声があがる。これで「また一つ覚えた。」と思う。そしてその人がよく覚えていたり、よく出来た時も感嘆の声があがる。

つまりこれらはすべて「おばさん現象」だと思う。おばさん頑張れ！そしておじさんも！

高柳先生、教えても教えてもすぐわすれてしまうおばさん、おじさん相手で大変でしょうが、10の内2~3ずつは覚えて行きますので、今後ともよろしくお願いいたします。

高橋 恭子 * アマポーラ受講生

スペイン*ミニミニ情報

今年の夏、スペインへ旅行を計画している方に、この夏開催される「グラナダ国際音楽舞踏祭」と「サンタンデール国際音楽舞踏祭」の主な演目の情報をお知らせします。

スペインの旅の思い出にもし時間に余裕があり、チケットが入手できたらぜひ立ち寄ってみるのもよいかもしれません。

詳しくは、スペイン政府観光局にお問い合わせください。

スペイン政府観光局の住所

〒105 東京都港区虎ノ門3-1-10第2虎ノ門電気ビル6階
TEL: 03-3432-6141

※ スペイン政府観光局は5月12日より、第2虎ノ門電気ビル4階から6階へ移転しました。

§ ★ § グラナダ国際音楽舞踏祭(6月20日~7月6日) § ★ §

☆ カルロス5世宮殿(アルハンブラ宮殿内)

6月20,22日 ハンブルグ・シンフォニーコンサート

6月24日 グラナダ市オーケストラ・コンサート

6月28日 グラン・カナリー・オーケストラコンサート

7月2,4日 スペイン国営テレビ・オーケストラコンサート

7月 6日 ポルトガル・オーケストラコンサート

☆ ヘネラリーフェ庭園

6月21日 フラメンコ舞踊

6月27,29日 ハーレム・ダンスシアター公演

7月3,5日 スペインとアメリカのスターアーティスト競演

☆ アラヤネスの中庭(アルハンブラ宮殿内)

6月25日 ソプラノ独唱

6月26日 チェロとピアノの演奏

6月30日 スペインとアメリカの混成合唱

7月 1日 セゴビア賛歌(ギター演奏)

§ ★ § サンタンデル国際音楽舞踏祭
(8月2日～9月3日) § ★ §

8月2,5日 ブッチーニ作「ラ・ボエーム」
8月10,11日 マリンスキーダンス・シアター
(S. ペテルスブルグ)
8月14,16日 ワーグナー作「さまよえるオランダ人」
8月28日 スペイン国立オーケストラ

§ ★ § 豪華観光列車「トランスカンタブリコ号」
運行のお知らせ § ★ §

前号と今号でスペイン「巡礼の道」を歩いた、会員の笠島さんの手記を掲載していますが、笠島さんのように歩くことはできなくても、一度「巡礼の道」をと、思っていच्छる方に耳寄りな情報です。

この巡礼の道に沿って、サン・セバスチャン～サンチャゴ・デ・コンポステーラ間を豪華観光列車「トラ

ンスカンタブリコ号」が、7泊8日をかけて運行しています。
ちなみに、料金はツイン使用で175,000ペセタ。シングルは、195,000ペセタ。

申し込みは、General Rodrigo, 6-3, Madrid.
TEL: 34-1-5337000

☆ 「トランスカンタブリコ号」運行日程 ☆

サン・セバスチャン発：

6月14日／6月28日／7月12日／7月26日／8月 9日
／8月23日／9月 6日／9月20日

サンチャゴ・デ・コンポステーラ発：

6月21日／7月 5日／7月19日／8月 2日／8月16日
／8月30日／9月13日／9月27日

事務局より会費納入のお願い

すでにお届けしてある払込取扱票で、1997年度の会費納入をお願いします。

ご存じの通り、当協会の運営は、会員の皆様が納入して下さる会費で賄われています。

現在お届けしているような会報の制作、又これを会員の皆様にお届けする郵送費など、すべて皆様からの会費が源資となっています。

よろしくご理解のうえ、6月30日までに最寄りの郵便局より会費を納入くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、払込取扱票を紛失された方は、下記までご請求ください。

事務局よりお送りしました払込取扱票をご使用になると、払込手数料がかかりません。

◎ 払込取扱票請求先

朝倉 部 (事務局長)



*** **
<編集後記> もう、梅雨ですね。今年のスペインの天候は、どうなのでしょう。願わくは、さくらたちが健やかに育つ気候でありますように。

*** **

* 投稿寄稿宛先 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター内
神奈川県民活動サポートセンター
レターケース No.184 横浜スペイン交流協会会報係